

令和元年度廃棄物・リサイクル専攻別研修(循環型社会実践コース) 実施要綱

環境省環境調査研修所

1. 目的

国及び地方公共団体等において廃棄物・リサイクル行政に一定(概ね1年以上)の経験があり、実務の中心となっている職員が、循環型社会構築に向けた実践的な取組が行われている現場の見学を通して、循環型社会の形成を中心とした廃棄物・リサイクル対策に係る業務遂行に必要な専門的知識を習得するとともに、全員合宿による研修生間の交流を通じて相互啓発及びネットワーク形成を図ることを目的とする。

2. 期間及び会場

(1) 期間：令和元年10月29日(火)から11月1日(金)まで(4日間)

(2) 会場：

①現地見学：北九州エコタウン(北九州市若松区、響灘東部地区)

②講義等：AIMビル 〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1 TEL:093-551-8827

(3) 宿泊：アパホテル小倉駅前 〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野2-14-65 TEL:093-531-4000

3. 教科内容

次頁のとおりとする。

4. 研修予定人員

40名

5. 研修を受ける資格

次の各号のいずれにも該当するものとする。

- (1) 国及び地方公共団体等において廃棄物・リサイクル対策業務(循環型社会の形成に係るもの)を担当している職員
- (2) 研修受講に支障のない健康状態にある者
- (3) 所属長の推薦を受けた者

6. 研修生推薦の有無

所属長は、研修生を推薦する場合、推薦書に別紙様式による被推薦者の「略歴書」を添えて、**令和元年9月6日(金)までに必着**するよう環境調査研修所所長あて文書により通知すること。

なお、研修生を推薦しない場合においても、前記の推薦期限までにその旨を文書(研修担当者からの事務連絡もしくは公用メールによる連絡でも可)にて通知すること。

7. 研修生の決定

環境調査研修所所長は、6の推薦に基づいて研修生を決定の上、推薦者にその旨を通知する。

8. 修了証書の交付

環境調査研修所所長は所定の課程(原則として1割以上欠課した者を除く。)を受講した者に対して修了証書を交付する。なお、受講の状態については、研修終了後所属長に通知する。

9. 経費

次の経費は所属長の負担とする。

(1) 往復に必要な旅費

ただし、環境省の職員については、環境調査研修所から支給する。

(2) 滞在費

ただし、国家公務員(独立行政法人職員を除く。)については日額旅費を環境調査研修所から支給する。

<令和元年度廃棄物・リサイクル専攻別研修(循環型社会実践コース) 教科内容>

I 循環型社会の構築に向けた基本理念と方策について理解する

1. 基調講義-循環型社会の構築 我国の廃棄物処理の変遷と循環型社会に求められる処理技術-
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1. 5
循環型社会構築の意義や歴史的経過、現状と今後の展望等について理解を深める。
2. 循環型社会形成に向けた施策の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1. 5
循環型社会の構築に向けた基本計画及び諸制度について、仕組みと問題点等について理解を深める。

II 循環型社会構築のための市民との協働について学ぶ

3. 循環型社会の形成に向けた北九州市の取組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1. 5
北九州市における3R推進活動の具体例を学ぶ。
4. 循環型社会形成に向けた市民活動等の取組の現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・ 1. 5
循環型社会構築のための取組には市民を含めた地域の広範な関係者の連携・参画が必要なことから、ここでは、市民活動についての現状と課題を理解し、協働の重要性を知る。

III リサイクルの現場を知る

5. 現地見学(講義含む:北九州エコタウン他)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 1. 0
各種リサイクル事業者の見学・講義を通して、リサイクルの現場を知る。

IV 研修成果の整理・確認を図る

6. グループ討議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3. 0
グループ討議により、研修成果の整理・確認を図る。
7. 総括講義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2. 0
リサイクル産業の現状を理解し、循環型社会構築に向け、取り組むべき課題について認識を深める。
8. その他(開・閉講式、オリエンテーション)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1. 0

合計 23.0 時間

(注)

- 開講式は9時30分より行います。
- 閉講式は13時00分に終了する予定ですが、講義時間の延長等により若干遅れる場合があります。
- 帰路の航空機や列車の時間を理由として、最終日の講義や閉講式を欠席することは認めません。

*次の情報を環境調査研修所ホームページに掲載しておりますので、御参照ください。

(URL <http://neti.env.go.jp>)

○「実施要綱」、「略歴書」様式